

あべともこニュース

いざ、堂々と新たな政策論議を

◆立憲党代表、自民党新総裁決まる

この1ヶ月余り、立憲民主党でも、また自民党も党のリーダーを選ぶための選挙が行われて、野田佳彦代表と石破茂総裁が選出されました。

近く解散総選挙も予定されているので、それぞれの党として国民への選択肢をしっかりと示すことが重要だと思います。その為にも、自民党には政治と金について、あるいは政治と統一教会問題について、きちんとしたはじめをつけ、さらなることを求めます。この問題は、さらに重要な外交安全保障や円安はじめ経済の低迷、少子高齢社会での社会保障、そして地球温暖化により多発する災害や食料問題などの議論の前提でもあるはずです。

また緊急に対策を必要とする能登半島水害については、解散前にきちんとした補正予算を組むことを、要求していきます。年初の能登半島地震についても予備費での対応が復旧を遅らせた経緯があります。能登を全力で支えること、国民の生命と財産を守る政治が問われています。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
 当選8回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともこ子ども
 クリニック（湘南台）理事長
 現在、厚生労働委員会
 原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>



◆PFAS対策を複合的に早急に！

9月25日、立憲民主党環境部会のメンバーと共に環境省に対し、「国の主導による抜本的なPFAS汚染対策を求める要請」を行いました。立憲民主党では、閉会后、毎週のペースでPFAS問題をとり上げ、有識者や各省庁からヒアリングを行ってきましたが、「予防原則」に立った対策や国主導の血液検査（バイオモニタリング）は急務であることを要請しました。

27日には、地元の本庄知史議員らと共に自衛隊下総基地へ。関係者からのヒアリングと現地視察を行いました。基地では、1993年に燃料タンクの火災事故後が発生。また、消火訓練設備は今も使用されていますが、いずれも2010年以前に基地内でPFAS含泡消泡剤が使用されたかどうかの記録すら残っていません。今になっての周辺での高濃度汚染の発覚は、PFASが永遠の化学物質と言われる所以です。土壌対策も含め、全貌解明と根本対策が不可欠です。

◆代表選、吉田はるみさんを擁立

9月23日に行われた立憲民主党の代表選挙。野田佳彦党最高顧問元総理、枝野幸男立憲民主党初代代表、泉健太立憲民主党代表の三名に加え、新人一期生ながら堂々と代表選挙に名乗りを上げた吉田はるみさんの四人で戦われました。

経験は元総理として政権を担ったこともある野田さんが一番ですし、枝野さんは立憲民主党を立ち上げた元代表、泉さんは現在の代表ですので、吉田さんが手を挙げるのは、清水の舞台から飛び降りるようなことだったかもしれません。

あべともこはその心意気やよしとして、またジェンダー平等を全面に掲げる党として、是非彼女の勇気を形にしたいと思い、推薦人集めに奔走しました。20人の壁は高かったです。菅直人元総理、中川正春超党派男女共闘参画議員連盟会長など重鎮の皆さんが協力して下さい、さらに江田憲司議員のバックアップで、無事立候補、代表選には食料品非課税の選択肢を示すことができました。結果は4位でしたが、望外の善戦でした！

